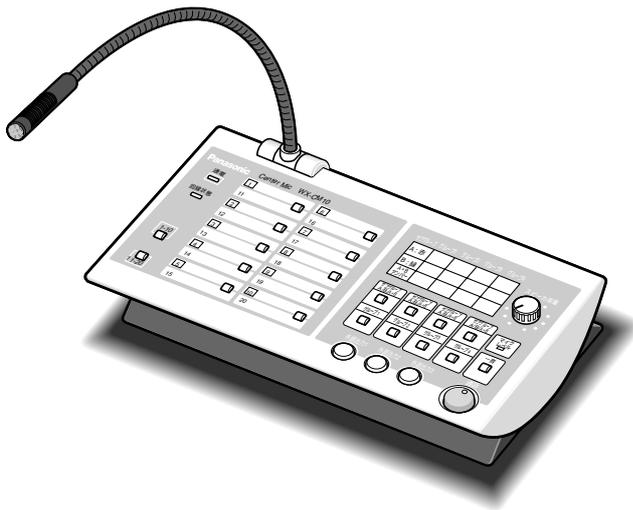


品番 **WX-CM10**



上手に使って上手に節電

もくじ

ご使用前に	
はじめに	2
安全上のご注意	4
取扱上のお願ひ	5
各部のなまえ	6
操作	
通話をする(基本操作)	8
通話先を指定する	10
緊急連絡中の操作	13
通話状態を解除する	14
設置・接続	
設置上のお願ひ	15
設置のしかた	16
接続のしかた	18
設定	
設定を始める前に	19
周波数を設定する	20
送信先を設定する	21
各種機能を設定する	22
その他	
システム構成例	25
ユーザー通知一覧	26
仕様	27
保証とアフターサービス	裏表紙

保証書別添付

このたびは、ワイヤレスインターカムシステム センターマイクをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なお読みにくい。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

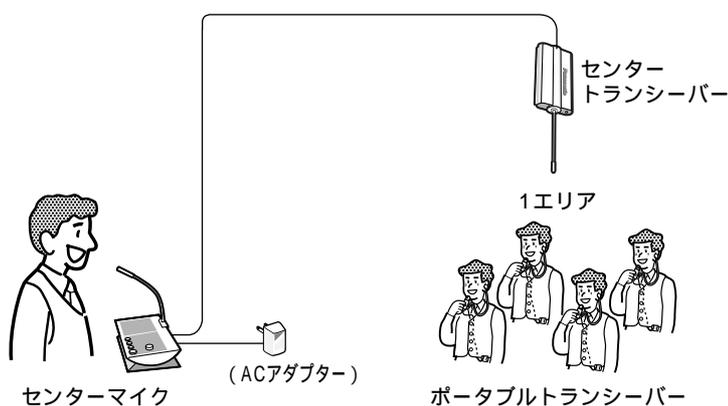
商品概要

本機は、ワイヤレスインターカムシステムに使用するセンターマイクです。センターユニットまたはセンタートランスシーバーと接続して、ポータブルトランスシーバーとの双方向通話や一斉放送ができます。

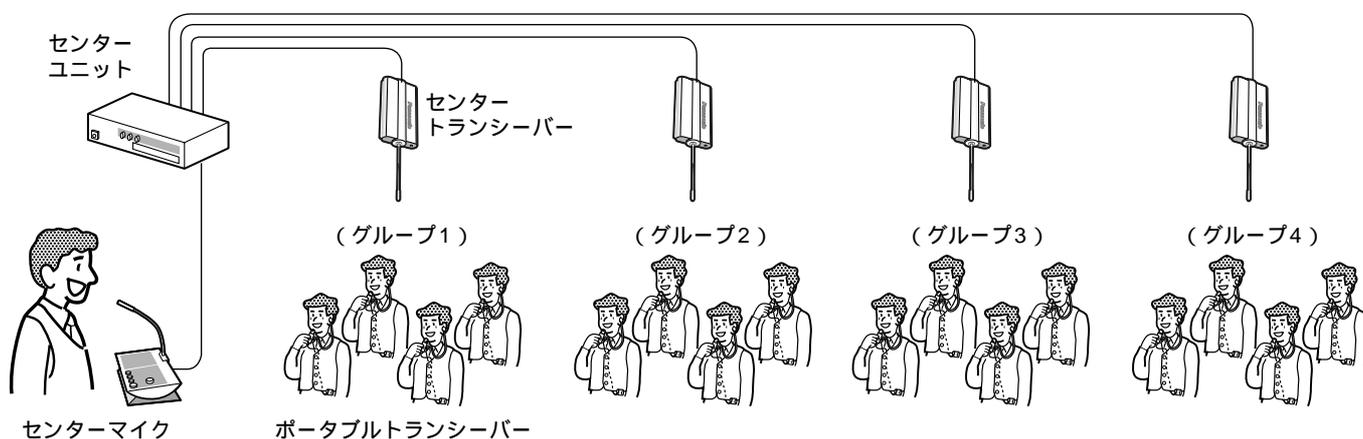
- 本機とセンターユニットまたはセンタートランスシーバーは、接続ケーブル一本で接続できます。
- 通話先は、個別選択（1～20）、グループ選択（1～4）、一斉放送が選択できます。
- 卓上用 / 壁掛け用いずれでも使用できます。
- マイク本体の角度は - 5 ° から 15 ° まで5段階に切り換えができます。
- マイクはフレキシブルシャフトを使用しています。
- 内蔵スピーカーを備えており、ボリュームで音量調節ができます。

システム例

センタートランスシーバーに直接接続するシステム



センターユニットを接続したシステム



付属品をご確認ください

風防	1 (本体取付済み)	取付ねじ	4
チャンネル設定用小型ドライバー	1	取扱説明書 (本書)	1
コードクランプ	3	保証書	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にしていると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

壁取付時、質量に耐える指定の方法で取り付ける



ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因になります。

取扱上のお願い

⚠ 警告、⚠ 注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

使用温度範囲は

- 10 から + 50 です。この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え、故障または誤動作の原因となります。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器前面をご覧ください。

本機を移動する場合は

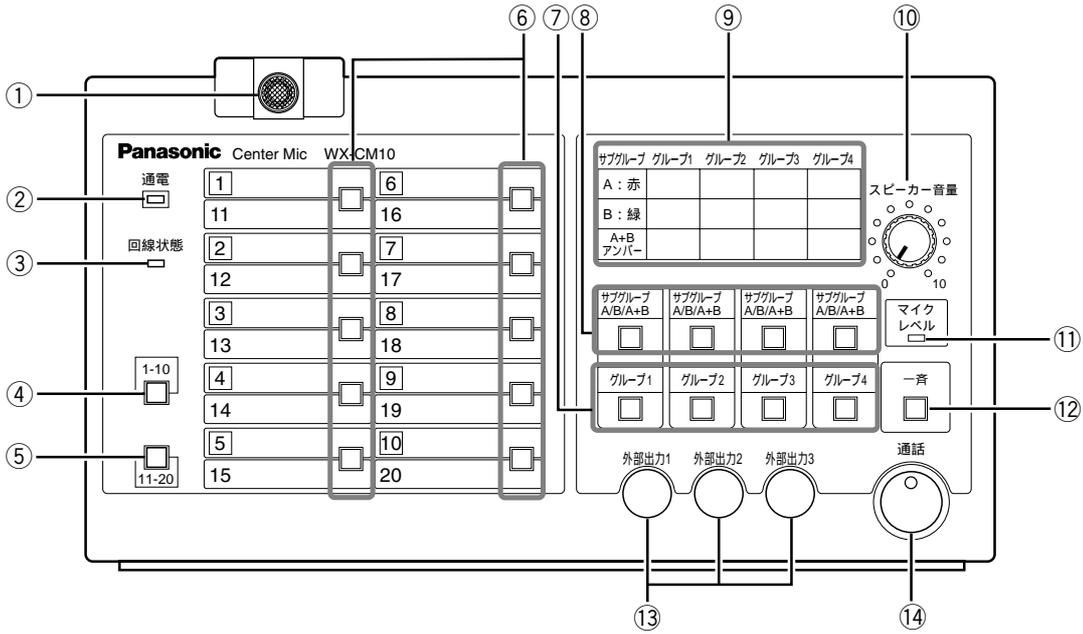
- 必ず本体部と台座部が固定されていることを確認し、台座部を持ってください。固定されていないと、落下などで故障の原因となります。
- フレキシブルマイク部を持って移動しないでください。故障の原因となります。

お手入れは

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。その後、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。
- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

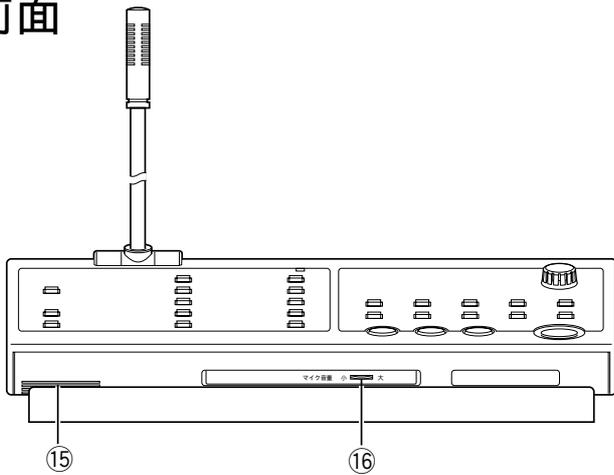
各部のなまえ

操作部

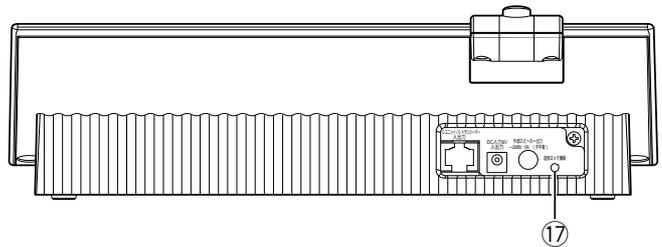


ご使用前に

前面



後面

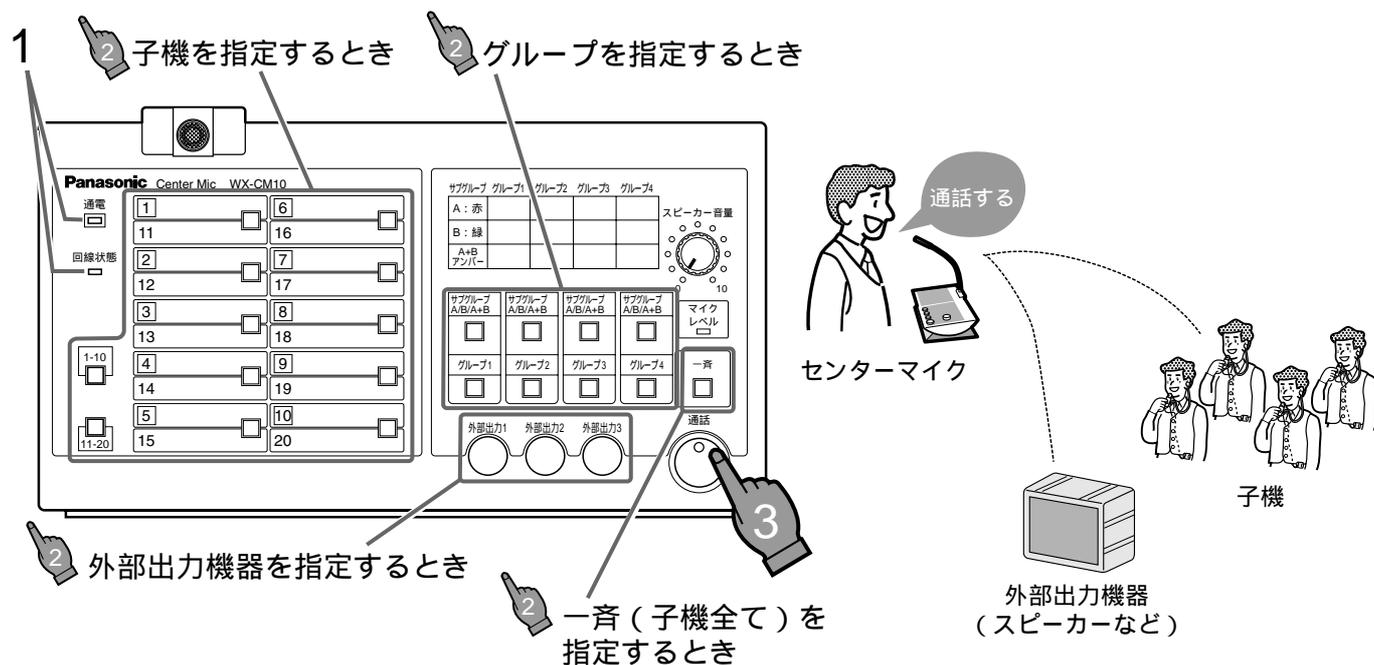


- ① フレキシブルマイク
マイクの方向を変えることができます。
風防（付属品）をつけてご使用ください。
- ② 通電LED [通電]
本機に電源が供給されているとき点灯します。
- ③ 回線状態LED [回線状態]
接続されているセンターユニットまたはセンター
トランシーバーとの回線状態を表示します。
緑点灯：正常時
緑点滅：音声ラインのエラー時
消 灯：通信エラー時、制御ラインの断線時コネ
クター抜け時
- ④ 個別選択1～10切換ボタン / LED [1～10]
押すと点灯し、個別選択ボタン⑥が1～10に切り
換わります。個別選択11～20切換ボタン⑤を押
すと消灯し、個別選択ボタン⑥は11～20に切り
換わります。
- ⑤ 個別選択11～20切換ボタン / LED [11～20]
押すと点灯し、個別選択ボタン⑥は11～20に切
り換わります。個別選択1～10切換ボタン④を押
すと消灯し、個別選択ボタン⑥は1～10に切り換
わります。
- ⑥ 個別選択ボタン / LED [1～20]
個別選択（1～20）します。選択されたボタンは
点灯し、再度押すと消灯します。複数のボタンを
選択できます。また、ポータブルトランシーバー
からの緊急連絡中は、該当IDのLEDが点滅します
（IDがない場合は点滅しません）。通話終了から5秒
程度経過すると、自動的に消灯します。
- ⑦ グループ選択ボタン / LED
本機からの通話先（グループ1,2,3,4）を選択しま
す。押すと点灯し、選択されます。
通話終了から5秒程度経過すると、自動的に消灯し
ます。また、ポータブルトランシーバーからの緊
急連絡中は、該当グループのLEDが点滅します。
- ⑧ サブグループ切換ボタン / LED
サブグループA,B,A+Bを切り換えます。初期状態
は橙色です。ボタンを押すと赤色 緑色 橙色...に
切り換わります。
橙色点灯：サブグループA,B両方選択
赤色点灯：サブグループAのみ選択
緑色点灯：サブグループBのみ選択
また、ポータブルトランシーバーからの緊急連絡
中は、該当サブグループのLEDが点滅します。
通話終了から5秒程度経過すると、自動的に消灯し
ます。
- ⑨ ネームプレート
各グループ、サブグループのボタンに対応する名
称を記入すると便利です。
- ⑩ スピーカー音量つまみ
内蔵スピーカーの音量を調節します。
- ⑪ マイクレベルLED
マイクからの入力音量のレベルを表します。
緑色点灯：レベル適正
赤色点灯：レベル過多
時々赤色が点灯する程度を目安にご使用ください。
- ⑫ 一斉選択ボタン / LED
ポータブルトランシーバー全てを選択します。本
ボタンを選択中は、グループ選択ボタン、サブグ
ループ選択ボタンの設定は無効になります。通話
終了から5秒程度経過すると、自動的に消灯します。
- ⑬ 外部出力選択ボタン / LED
外部出力（1,2,3）を選択します。通話終了後は自
動的に消灯します。
- ⑭ 通話ボタン / LED
選択した通話先と通話できます。本ボタンを押す
と、通話が開始 / 終了されます。
- ⑮ 内蔵スピーカー
通話している内容を聞くことができます。
- ⑯ マイク音量調節つまみ
マイクの入力音量を調節します。
- ⑰ 送信ロック解除ボタン
通話状態を強制的に解除するボタンです。
緊急連絡時 は、ポータブルトランシーバー側で解
除するか、このボタンが押されるまで通話状態が
続きます。（送信出力が1 mWの場合）

緊急連絡とは、ポータブルトランシーバーにあるマル
チボタンの動作を“エマージェンシー”に設定したと
きの通話状態です。トラブルが発生したことを通知す
るとともに、現場でのやりとりなどを伝えることがで
きます。

通話をする（基本操作）

ポータブルランシーバー（以下、子機）やスピーカーなど、通話先を指定して通話することができます。



通話手順を説明します。通話先の指定のしかたは、10ページをご参照ください。

1

通電LED、回線状態LEDが点灯していることを確認する

接続状態を確認してください。

- 通電LED.....消灯：電源が供給されていません。
電源を確認してください。
- 回線状態LED...点滅：音声ラインエラー
消灯：通信エラー、制御ラインの断線、
コネクター抜け



2

通話先を指定する

指定する通話先のボタンを押します。押したボタンが点灯します。

- 子機を指定する（☞ 10ページ参照）
- グループ、サブグループを指定する（☞ 11ページ参照）
- 一斉（子機全て）を指定する（☞ 12ページ参照）
- 外部出力機器（スピーカーなど）を指定する（☞ 12ページ参照）

3

通話ボタンを押し続け、“ブーピピッ”と鳴ったらマイクに向かって話す

- 押したままの状態でご話してください。
- “ブーブブブッ”と鳴ったときは、やり直してください。
- マイクレベルLEDが緑色に点灯する音量で話します。
- マイクの音量は、本機前面にあるマイク音量調節つまみで調節してください。
- 内蔵スピーカーの音量を調節します。



4

話し終わったら通話ボタンを離す

- 通話が終了しても5秒程度は、通話先に選択したボタンの選択は解除されない（通話LED点灯継続）ため、続けて通話が可能です。

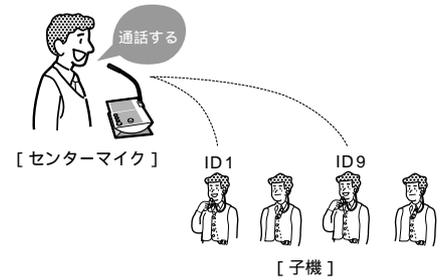
メモ

- 本機から通話を行っているときに本機で通話を終了すると、相手の通話も切断されます。また、子機や外部入力機器から話しかけられた場合、子機や外部入力機器が通話を止めると、本機の通話も切断されます。
例えば、グループ1から本機に向かって話しかけられているときに、本機からグループ2に話しかけている場合、グループ1の子機が通話を止めると、本機からの通話も切断されますのでご注意ください。
- 複数のグループから話しかけられているときに、本機からグループを選択して通話すると、選択しているグループ以外の子機からの音声は遮断されますので、選択しているグループの子機とだけ通話をすることができます。
- 通話中に子機からの緊急連絡を受信すると、いったん通話は切断されます。
- 通話中は、通話ボタン以外のボタン操作は無効となります。
ただし、個別選択1～10 / 11～20切替ボタンは有効ですので、通話先として選択しているIDの確認ができます。

通話先を指定する

子機を指定する

子機を指定（20台まで）して通話することができます。
子機側でそれぞれID番号（1～20）が設定されている必要があります。
ID番号は、本機の個別選択ボタン（1～20）に対応しています。



センターマイクから、子機ID1とID9に通話する場合の操作方法を説明します。

1

個別選択1～10切換ボタンを押す

LEDが点灯し、個別選択ボタン1～10が指定できます。

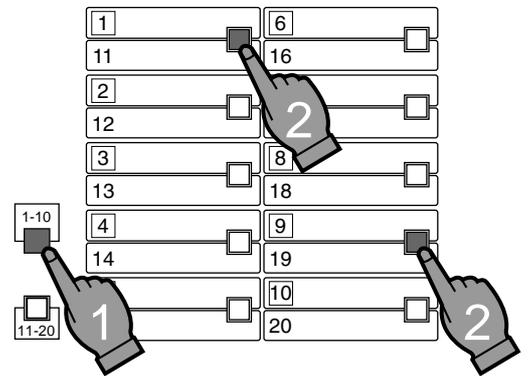
- 工場出荷時は1～10が選択された状態に設定されています。

2

個別選択ボタンの1と9を押す

押したボタンが点灯します。

- 続けて11～20を選択する場合は、個別選択11～20切換ボタンを押してから、選択します。



3

グループを指定する

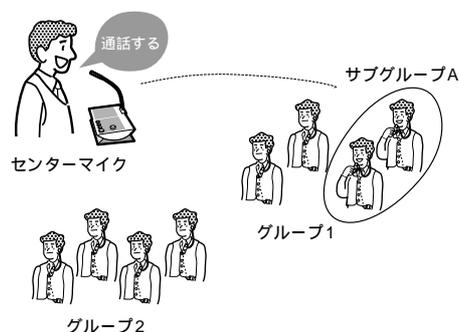
子機がどのグループにいるかわかっている場合は、グループを指定してください。指定されなかったグループの子機は通話できるようになります。

メモ

- IDを指定して通話した場合、他の子機は通話できなくなります。
- IDを指定して通話している場合でも、同じ周波数に設定されていると、外部から市販のトランシーバーなどで受信できてしまいますので、通話内容にはご注意ください。
- 選択されているID番号は、個別選択切換ボタンを押して切り換えることで確認できます。個別選択1～10切換ボタンを押すと、1～10のうち選択されているLEDが点灯します。個別選択11～20切換ボタンを押すと、11～20のうち選択されているLEDが点灯します。個別選択切換ボタンが消灯していても、上記のように確認し、点灯しているLEDの子機には全て通話できます。
- すでに子機が通信を行っている状態では、個別選択を行うことはできません。通信が終了してから行ってください。

グループを指定する

グループ（1～4）を指定して通話することができます。
 サブグループが設定されている場合、サブグループA,Bまで指定することができます。
 サブグループを設定していない場合は、A+Bを指定してください。



センターマイクから、グループ1のサブグループAに通話する場合の操作方法を説明します。

1

グループ1選択ボタンを押す

LEDが点灯し、グループ1が指定されます。

サブグループを選択しない場合は、手順2は必要ありません。

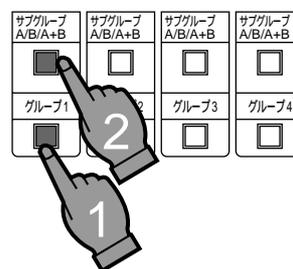
サブグループ	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
A : 赤	1F			
B : 緑	2F			
A+B アンバー	1F+2F			

2

グループ1のサブグループ切替ボタンを2回押す

LEDが点灯します。初期状態は橙色です。ボタンを押すと赤色 緑色 橙色...に切り換わります。

- 橙色点灯：サブグループA,B両方選択
- 赤色点灯：サブグループAのみ選択
- 緑色点灯：サブグループBのみ選択



グループのボタンに対応する名前をネームプレートに記入しておくとう便利です。

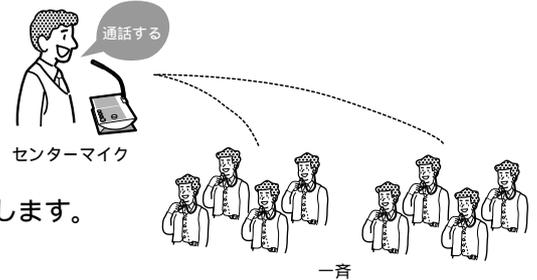
メモ

- すでに子機が通信を行っている状態では、個別選択を行うことはできません。通信が終了してから行ってください。

通話先を指定する（つづき）

一斉（子機全て）を指定する

接続されている子機全てと、通話することができます。



センターマイクから、一斉に通話（放送）する場合の操作方法を説明します。

1

一斉選択ボタンを押す

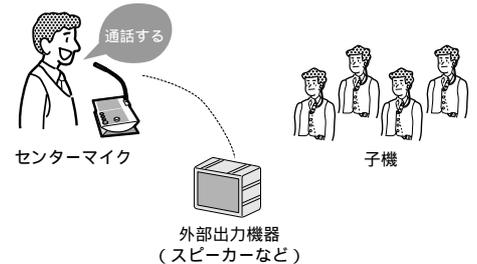
LEDが点灯し、接続先全部が指定できます。

- このとき、グループ選択ボタン、サブグループ切替ボタンは、全て点灯します。
ただし、IDによる子機選択は有効なため、選択した子機とだけ通話できます。



外部出力機器（スピーカーなど）を指定する

外部出力機器（1～3）を指定して通話することができます。



センターマイクから、外部出力機器1のスピーカーに通話する場合の操作方法を説明します。

1

外部出力1選択ボタンを押す

LEDが点灯し、外部出力1が指定されます。



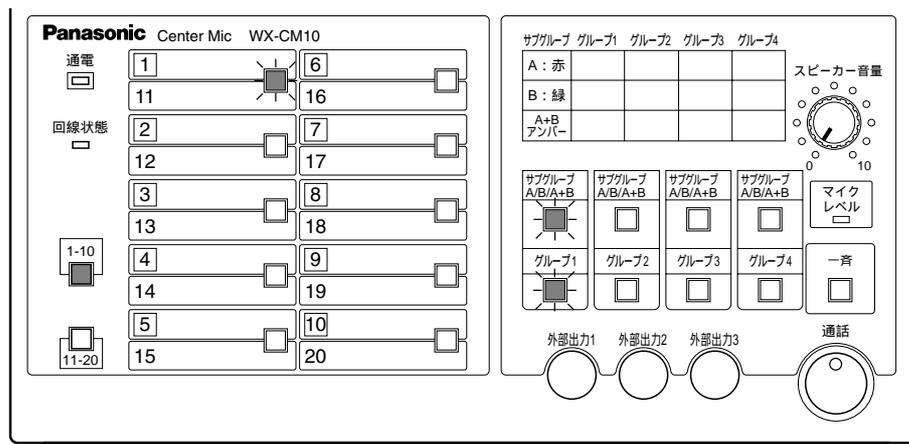
緊急連絡中の操作

緊急連絡とは、ポータブルトランシーバーにあるマルチボタンの動作を“エマージェンシー”に設定したときの通話状態です。トラブルが発生したことを通知するとともに、現場でのやりとりなどを伝えることができます。

子機からの緊急連絡を受信すると

緊急連絡を行った子機のID、グループ、サブグループのLEDが点滅します。

下図では、グループ1の子機 ID1から緊急連絡を受信した場合を示します。



メモ

- 本機からの通話中に緊急連絡を受信すると、本機からの通話がいったん切断されます。

緊急連絡中に、緊急連絡を行った子機を呼び出すときは

1

通話したいグループのグループ選択ボタンか、一斉選択ボタンを押す

点滅していたID、グループ、サブグループLEDの点滅間隔が変わります（一斉選択ボタンを押した場合は、一斉選択LEDおよび他のグループ、サブグループLEDは点灯します）。



2

通話ボタンを押す

通話ボタンが点灯します。



メモ

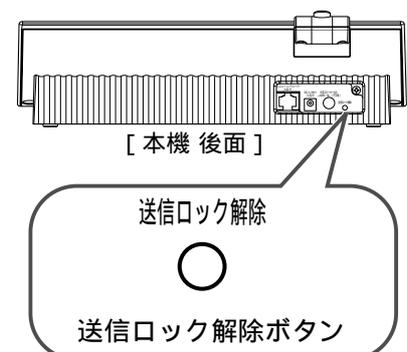
- 緊急連絡中は、グループ選択ボタンと一斉選択ボタン、および外部出力選択ボタンしか選択できません。このとき、サブグループは自動的にA + Bに割り当てられます。

緊急連絡を解除するときは

1

送信ロック解除ボタンを押します

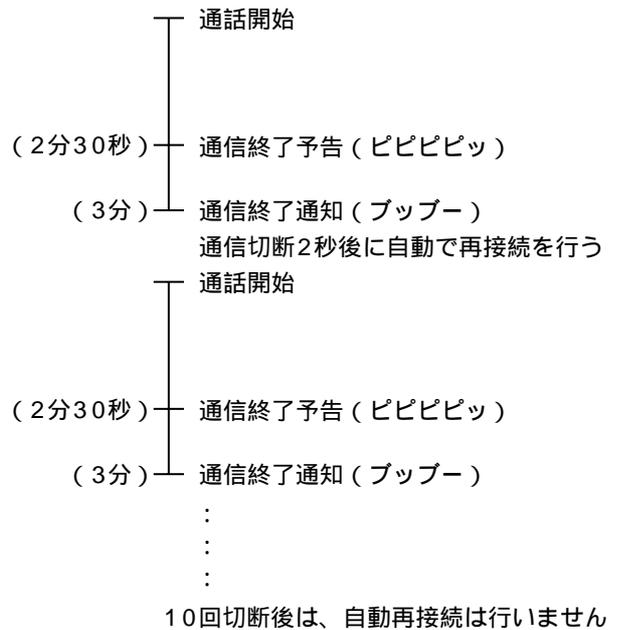
- 通話状態が強制的に解除され、個別選択ボタン / LEDが消灯します。



緊急連絡中の操作（つづき）

メモ

- 本機の送信出力を"10 mW"で使用する場合、法律の規定により3分間通話をするとう動的に通信を切断し、2秒間通信が禁止されます。最初の切断時には本機が自動で再接続を行いますが、10回目以降の切断時には再度通話開始の操作が必要となります。
- "1 mW"で使用する場合は、通話時間の制限はありません。

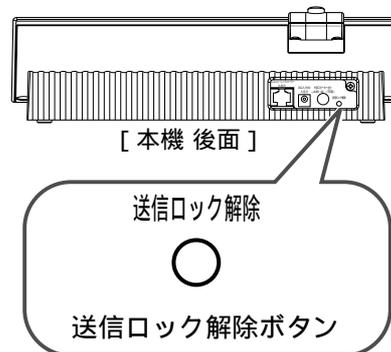


通話状態を解除する

操作

ポータブルトランシーバー間やポータブルトランシーバーとセンターマイク間の通話状態を強制的に解除します。次のような場合にご使用ください。

- ポータブルトランシーバーが通話状態をロックしてしまったとき。(送信出力が1 mWの場合)
例えば、ポータブルトランシーバーのトークボタン動作が“ロック”に設定されている場合、トークボタンを一度押すと通話状態になり、もう一度押すと通話状態が解除されます。誤って通話解除をしなかった場合は電池がなくなるまで通話状態が続けられる可能性があります。
- ポータブルトランシーバーから緊急連絡を行ったとき。



1

送信ロック解除ボタンを押します

- 通話状態が強制的に解除され、個別選択ボタン / LEDが消灯します。

設置上のお願い



警告

工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にし、本機に電源を供給する機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

設置場所について

- 直射日光のあたるところや温風吹き出し口の近くは避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置しないでください。
- トランス、調光器、映像機器、CRTモニターなどから、できるだけ離してください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。
- 電波受信機（ラジオやテレビ、ワイヤレスマイクの受信機）の近くで使用すると、電波受信機側で雑音や誤動作の原因となることがあります。本機と電波受信機はできるだけ離してご使用ください。

壁取付について

モルタル壁へのねじによる直取付はしないでください。強度不足による落下の原因や、発熱による発火の原因となります。

設置のしかた

本機は、壁掛型、据置型として設置できます。

ラックに取り付けて使用する場合は、別途ラック取付金具（現地調達）をご用意ください。



警告

必ず電源を切ってから行ってください。

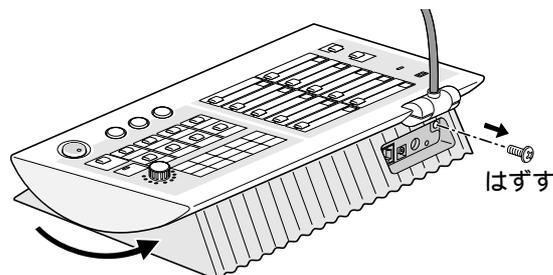
本機に電源を供給する機器（センターユニット、ACアダプター）からの電源を遮断した状態で行ってください。電源が入った状態で行うと、感電または機器を破損する原因となります。

壁掛型として使用する場合

本機を壁に取り付けて使用する場合は、以下の手順で設置してください。

1

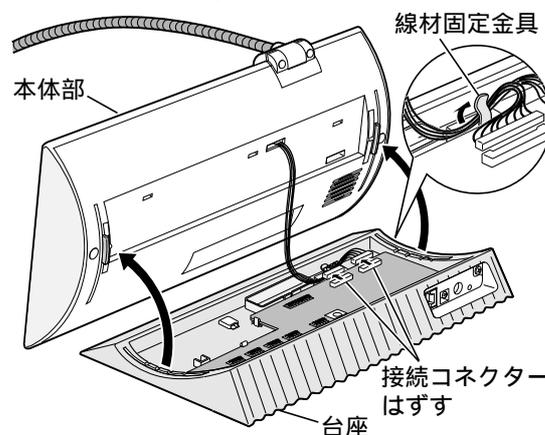
本機背面のねじを外して、本体部を矢印の方向にスライドさせる



2

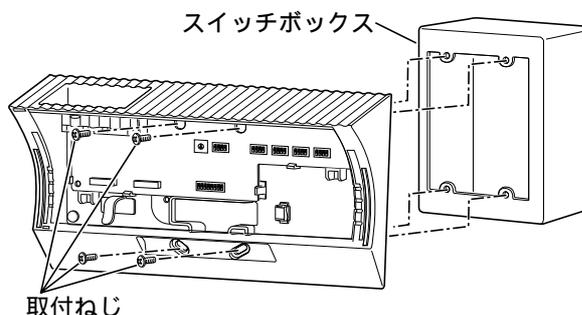
本体部を台座から外し、線材2本を外す

- (1) 線材固定金具を上にあげて、線材を外す。
- (2) 接続コネクタを外す。



3

スイッチボックス（別途調達）などに、付属の取付ねじ4本で取り付ける

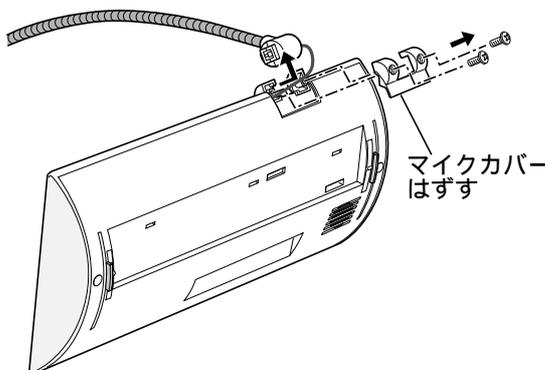


重要!

- モルタル壁へのねじによる直取付はしないでください。強度不足による落下の原因や、発熱による発火の原因となります。

4

本体部底面のねじ2本と、マイクカバーを外す

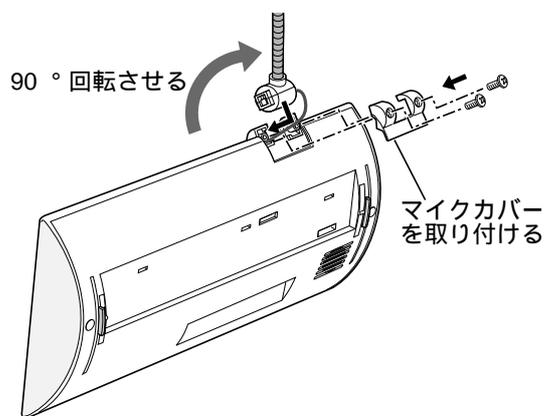


5

マイクを90°回転させてマイクカバーを取り付け、ねじ2本で固定する

重要!

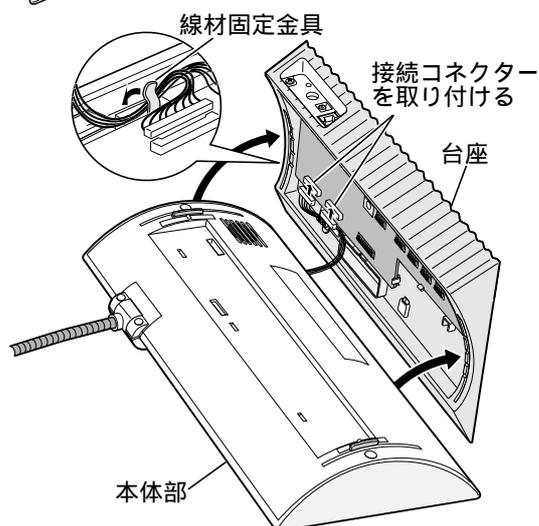
- マイク、マイクカバーを取り付ける際は、内部の線材をはさんだり、強く引っ張ったりしないでください。線材が破損する原因となります。



6

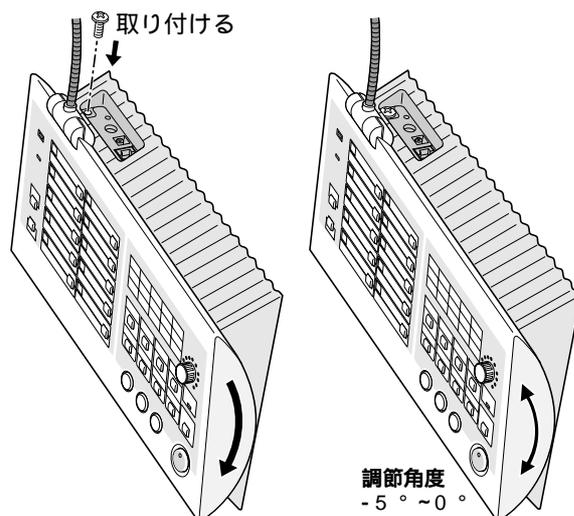
台座に線材2本を接続し、本体部を取り付ける

- (1) 本体部の接続コネクタを台座部に接続する。
- (2) 線材固定金具で線材を固定する。
- (3) 本体部の突起部を台座の溝にはめ込む。



7

本体部を手順1と反対方向にスライドさせ、本機背面に手順1で外したねじを取り付ける

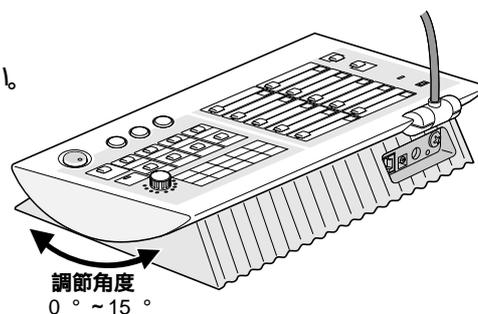


8

使いやすい角度に調節する

据置型として使用する場合

本機を卓上に置いて使用する場合は、使いやすい角度に調節してご使用ください。



接続のしかた

本機はケーブル1本でセンターユニットまたはセンタートランシーバーと接続します。

- ケーブルは付属していません。

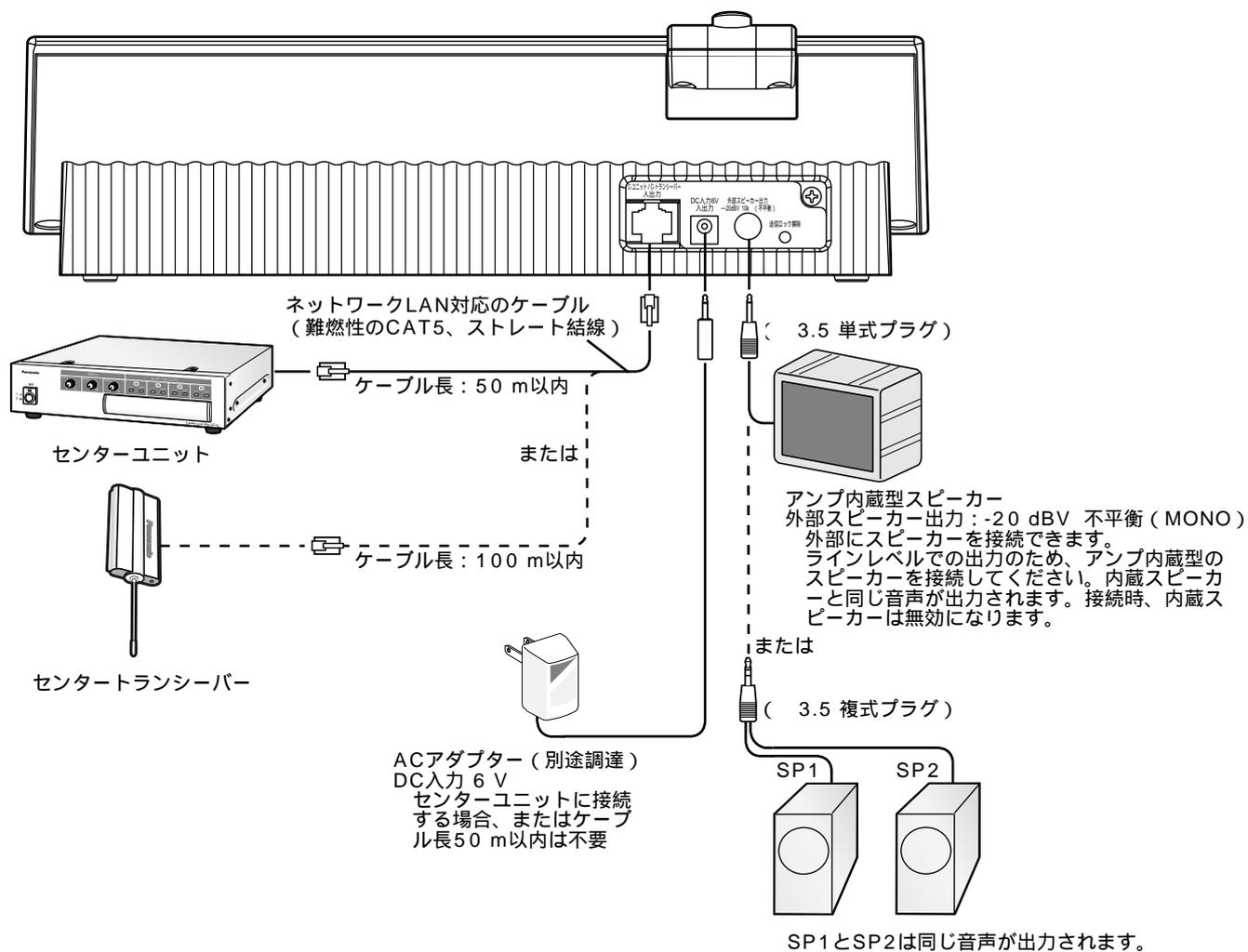
“難燃性のCAT5（ストレート結線）”ケーブル*1を別途ご用意ください。

- *1 センターユニットを接続する場合：ケーブル長 50 m以内（本機にACアダプター接続時150 m以内）
センタートランシーバーを接続する場合：ケーブル長 100 m以内（センタートランシーバーにACアダプター接続時300 m以内）

また、ケーブルの長さが上記以上の場合は、供給される電力が低下しますので、下記のACアダプター（別途調達）を併用してください。

- センターユニットを使用しない場合は、下記のACアダプター（別途調達）を接続してください。

推奨ACアダプター：RP-AC61B（松下電器産業株式会社製）、DC6 V（400 mA）



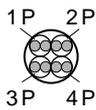
ケーブル仕様

RJ45モジュラージャック



ツイストペアケーブル

（難燃性のCAT5、ストレート結線） [ケーブル断面図]



設定を始める前に

本機の設定は、販売店・設置業者にお任せください。

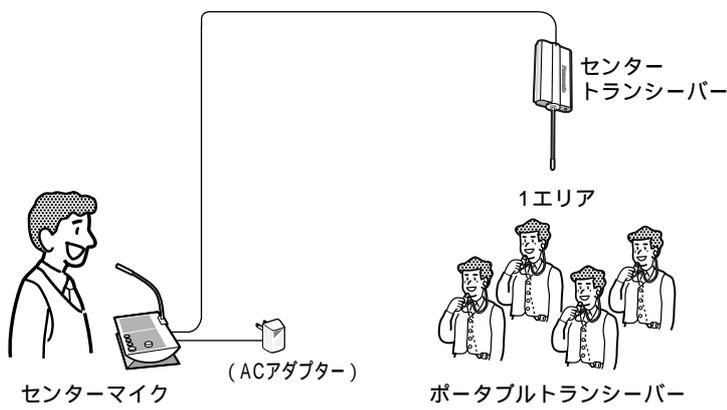
システム構成について

本機を使用したワイヤレスインターカムシステムのシステム構成は、大きく分けて次のものがあります。

- 本機には、センターユニットまたはセンタートランシーバーが1台接続できます。
- ポータブルトランシーバーの使用台数に制限はありません。

センターユニットを接続しないシステム

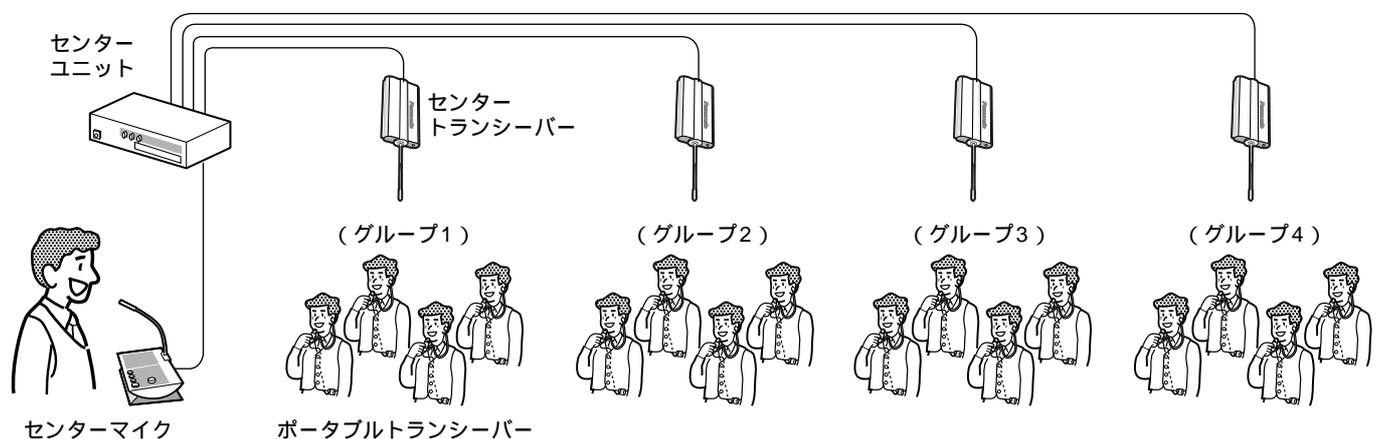
本機にセンタートランシーバーを1台接続した、1エリア・1グループのシステムです。



センターユニット接続システム

センターユニットを接続した複数エリア設定可能なシステムです。

センターユニットを使用したシステムについては、センターユニットの取扱説明書をご参照ください。



設置・工事

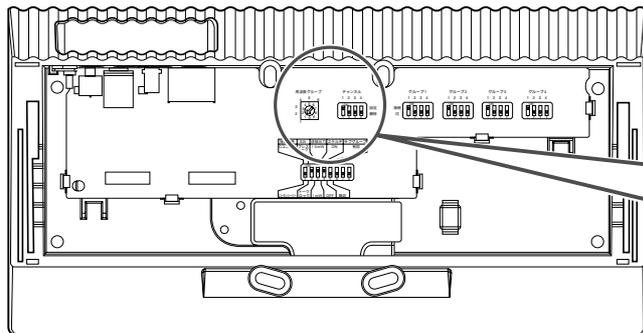
周波数を設定する (センタートランシーバーに直接接続する場合)

本機をセンタートランシーバーに直接接続する場合は、周波数グループ設定ロータリースイッチとチャンネル設定ディップスイッチでセンタートランシーバーの周波数設定を行います。

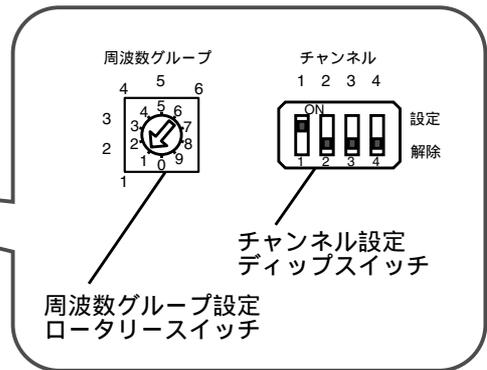
- 周波数グループ設定ロータリースイッチ：周波数グループを設定します。
- チャンネル設定ディップスイッチ：チャンネル1～4のいずれか1つのチャンネルを設定します。

注意

- 設定後または変更後は、必ず電源を再投入してください。再投入しないと、設定が反映されません。



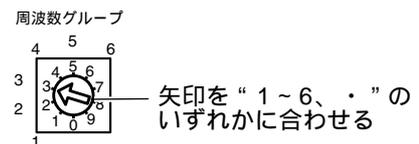
[本機 台座部]



1

周波数を設定する

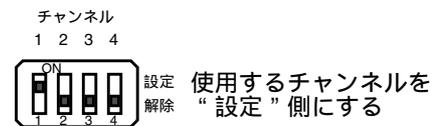
- 周波数グループ設定ロータリースイッチを“1～6、・”のいずれかに設定してください。



2

チャンネルを設定する

- チャンネル1～4のいずれか1つのチャンネルを“設定”にしてください。その他のチャンネルは“解除”にしてください。



メモ

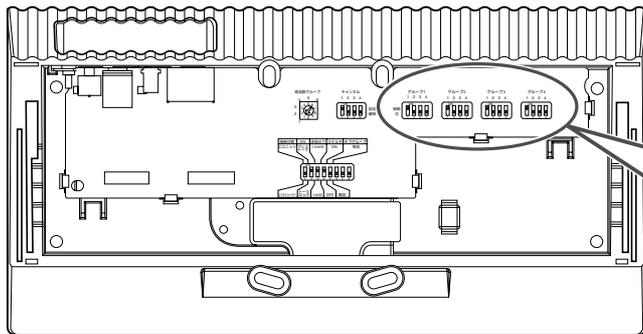
- 本機能を有効にするには必ず、本システムで使用しているセンタートランシーバーのセンターユニット接続スイッチを“接続”にしてください。
- チャンネルが2つ以上“設定”になっていると、通話ボタン/LEDが点滅します。
- 周波数グループ設定ロータリースイッチが“1～6、・”以外になっているときは、異常状態となり異常警告を通知して一切の操作・動作ができなくなります (P.26ページ)。
- センターユニットが接続されている場合は、本機での設定は無視されます。

送信先を設定する

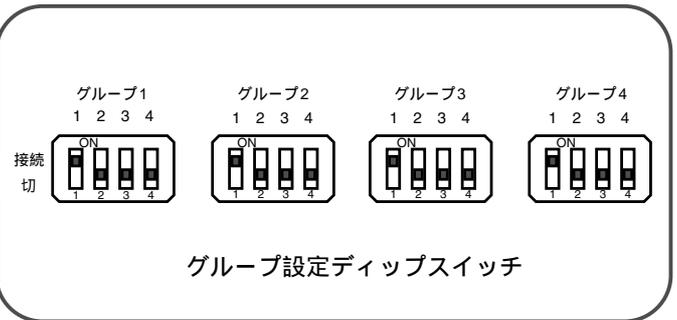
本機台座部のグループ設定ディップスイッチと、センターユニットに接続しているセンタートランシーバーの対応を設定します。

注意

- 設定後または変更後は、必ず電源を再投入してください。再投入しないと、設定が反映されません。



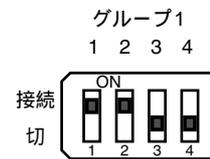
[本機 台座部]



1

送信先を設定する

- 送信先に設定するセンタートランシーバーの番号のディップスイッチを"接続"にしてください。
- 例えば、センタートランシーバー1,2をグループとして運用する場合は、1番,2番のスイッチを"接続"にします。



グループ設定ディップスイッチ

- 1番：センタートランシーバー-1
- 2番：センタートランシーバー-2
- 3番：センタートランシーバー-3
- 4番：センタートランシーバー-4

メモ

- システム構成により設定内容は異なります。設定の際は、センターユニットの取扱説明書をご覧ください。うえ、センターユニットの前面パネルにあるトーク設定スイッチで構成しているグループに合うように設定してください。
- 異なるグループ設定ディップスイッチに、同じセンタートランシーバーを割り当てないでください。また、グループは若い番号から順に割り当て、間を空けないください。
- 本機をセンタートランシーバーに直接接続する場合は、グループ設定ディップスイッチのグループ1の1番だけを"接続"にし、他の全てのディップスイッチは"切"にしてください。

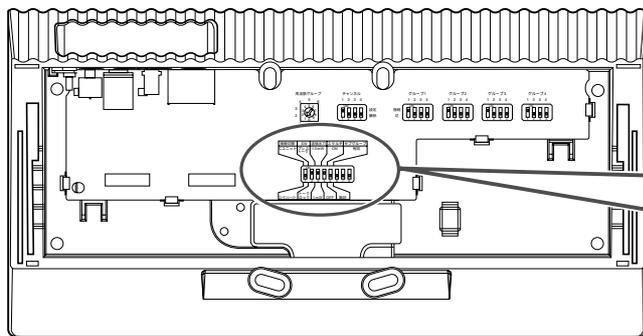
各種機能を設定する

機能設定ディップスイッチの1番～5番スイッチで各種機能を設定します。

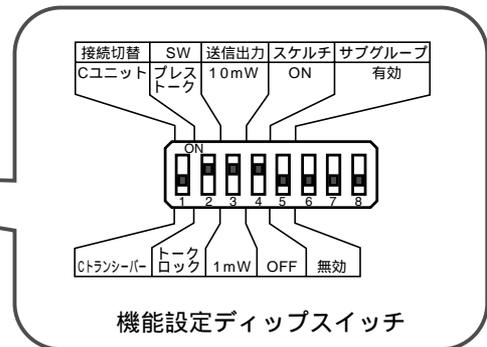
- 1番スイッチ : 接続する機器を設定
- 2番スイッチ : 通話ボタン動作モード設定
- 3番スイッチ : 送信出力設定
- 4番スイッチ : スケルチ設定
- 5番スイッチ : サブグループ設定

注意

- 設定後または変更後は、必ず電源を再投入してください。再投入しないと、設定が反映されません。



[本機 台座部]



センターユニットの設定

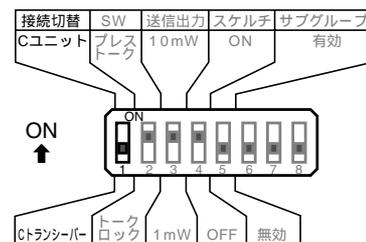
接続する機器を設定します。

センターユニットに接続されているときは“Cユニット”に設定します。工場出荷時の設定は“Cトランシーバー”（センタートランシーバーに接続）です。

1

接続する機器を設定する

- 機能設定ディップスイッチの1番スイッチで設定してください。
ON : センターユニット
OFF : センタートランシーバー



通話ボタン動作モードの設定

通話ボタンの動作モード（プレストーク/トークロック）を設定します。工場出荷時の設定は“ON（プレストーク）”です。

1

通話ボタンの動作モードを設定する

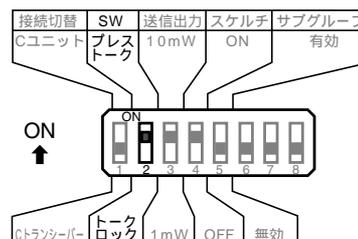
- 機能設定ディップスイッチの2番スイッチで設定してください。

ON：プレストーク

通話ボタンを押している間だけ音声を送信されます。

OFF：トークロック

通話ボタンを押すたびに、音声の送信/停止が切り換わります。



メモ

- システムの送信出力が10 mWのときは、トークロックに設定していても3分で通話が切断されます。詳しくは、「送信出力の設定」をお読みください。

送信出力の設定（センタートランシーバーに直接接続しているとき）

送信出力（10 mW / 1 mW）を設定します。工場出荷時の設定は“ON（10 mW）”です。

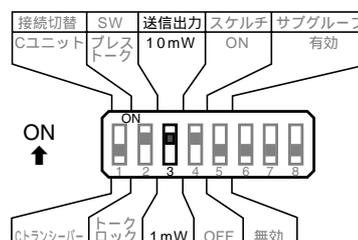
1

送信出力を設定する

- 機能設定ディップスイッチの3番スイッチで設定してください。

ON：10 mW

OFF：1 mW



メモ

- 10 mWを使用する場合、法律での規定により、3分間通話をすると自動的に通信を切断し、2秒間通信が禁止されます。通話開始から約2分30秒経過した時点で通信終了予告（ピピピピッ）を行い、約3分経過した時点で通信終了通知（ブザー）を行います。
- 本機がセンターユニットに接続されているときは、本機での設定は無視されます。

スケルチの設定（センタートランシーバーに直接接続しているとき）

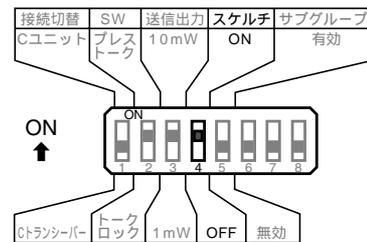
設置時のテストに使用するものです。“OFF（無効）”に設定すると常時ミュート解除状態（常に通信内容やノイズが出力される）となり、通信が行われているか確認できます。

通常は“ON（有効）”の位置でお使いください。工場出荷時の設定は“ON（有効）”です。

1

スケルチを設定する

- 機能設定ディップスイッチの4番スイッチで設定してください。
ON：有効
OFF：無効



メモ

- ポータブルトランシーバーが送信していないときにスケルチ設定を“OFF”にすると、出力設定されている出力端子から過大なノイズが出力されます。スケルチ設定を“OFF”にする場合はご注意ください。
- 本機がセンターユニットに接続されているときは、本機での設定は無視されます。

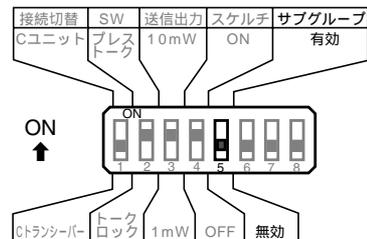
サブグループの設定

サブグループ（A,B）の設定を無効にすることができます。無効にすると、サブグループ切換ボタンを押しても、常にサブグループA、B両方が選択された状態（橙色点灯）になります。工場出荷時の設定は“OFF（無効）”です。

1

サブグループを設定する

- 機能設定ディップスイッチの5番スイッチで設定してください。
ON：有効
OFF：無効



メモ

- サブグループとは、ひとつのセンタートランシーバーでも2グループとして使用できるものです。本機からは、サブグループA、サブグループB、サブグループA+Bのいずれかを選択して通話することができます。

システム構成例

ワイヤレスインターカムシステムのシステム構成とディップスイッチの設定例です。
 ここでは、本機とセンタートランシーバーを接続した場合の構成例のみとします。
 センターユニットを接続した場合の設定については、センターユニットの取扱説明書をご参照ください。

システム構成	特長	最大グループ数	1グループの通話範囲	センタートランシーバー数		グループ移動	通話方式	
				システムとして	1グループ当たり		CM - 子機間	子機間
センターユニット無しシステム 	・センタートランシーバーとポータブルトランシーバーのみまたはセンターマイク接続のシステム	1	狭	- - -	1	- - -	同時通話	交互通話
サブグループ型 	・サブグループ間 (AとB) は同時に通信不可	2	狭	- - -	1	- - -	同時通話	交互通話

センターマイク ディップスイッチ設定				ポータブルトランシーバー ディップスイッチ設定							
グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	チャンネル設定				グループ移動設定 (スーパーリーダー)	その他共通設定		
				グループ1 (CT1)	グループ2 (CT2)	グループ3 (CT3)	グループ4 (CT4)		サブグループ設定	エリア拡大設定	
	- - -	- - -	- - -		- - -	- - -	- - -	- - -			
	- - -	- - -	- - -		- - -	- - -	- - -	- - -			

ユーザー通知一覧

本機では下記の内容について、ピープ音やLEDの点灯・点滅で動作状態をお知らせします。

分類	内 容		ピープ音	LED
通知	発呼開始	通話ボタン押下時	ブー	通話LED点滅
		緊急連絡時	ブピブピブピ...	該当ID,グループLED点滅
通知	発呼完了		ピピッ	通話LED点灯
警告	発呼失敗		ブブブッ	通話LED点滅 消灯
通知	緊急連絡受信中			該当ID,グループLED点滅
通知	通話中	通話ボタン押下時		通話LED点灯
		個別選択 (ID) ボタン押下時		通話LED点灯
		緊急連絡受信時		通話LED点滅
通知	通話切断	子機トークボタン押下時	ピピッ	通話LED消灯
		子機マルチボタン押下時	ピピッ	通話LED消灯
		子機送信OFF時	ブプー	通話LED消灯
警告	3分タイマー	通信終了予告 (2分30秒経過時)	ピピピピッ (3秒おきに)	
		通信終了通知	ブプー	
警告	スイッチ設定異常 (周波数グループ設定ロータリースイッチが1~6,・以外に設定されている)			一斉選択LED点滅
警告	ユニット間接続	正常		回線状態LED点灯
		通信異常		回線状態LED消灯
		音声ライン異常		回線状態LED点滅

仕様

電源	センターユニット接続時：DC 5.4 V (センターユニットから供給：別途調達ケーブル) センターユニット非接続時：DC 6 V (ACアダプターから供給：別途調達)
消費電流	約200 mA
マイクロホン	ECM内蔵 350 mm フレキシブルマイクロホン
音声出力	- 10 dBV 平衡 (8ピン モジュラージャック)
音声入力	- 10 dBV 平衡 (8ピン モジュラージャック)
外部スピーカー出力	- 20 dBV 不平衡MONO (3.5 複式プラグ)
スピーカー	内蔵 (約 1 W)
角度調節	本体部：- 5 ° ~ 15 °、5 °ステップ、マイク部：0 °または90 °
設置	壁取付時は台座を壁に取付可能。対応する電工ボックス：JIS 2連型
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 50 °C
寸法	幅 280 mm 高さ 55 ~ 76 mm 奥行き 150 mm (突起部含まず) マイク長：約 350 mm
質量	約 1 kg
仕上げ	本体部：OAアイボリー樹脂色 (樹脂成形) マンセル5.5Y7.5/0.3近似色 台座部：グレー樹脂色 マンセルN3.5近似色 操作部：ポリカーボネイトシート (t=0.5)

周波数表

CT：センタートランシーバー、PT：ポータブルトランシーバー

チャンネル番号	CT：受信周波数 PT：送信周波数	CT：送信周波数 PT：受信周波数	周波数グループ							
			G1	G2	G3	G4	G5	G6	G・	
1	421.5750 MHz	440.0250 MHz	①							
2	421.5875 MHz	440.0375 MHz		①						
3	421.6000 MHz	440.0500 MHz								①
4	421.6125 MHz	440.0625 MHz	②							
5	421.6250 MHz	440.0750 MHz		②						
6	421.6375 MHz	440.0875 MHz			①					
7	421.6500 MHz	440.1000 MHz				①				
8	421.6625 MHz	440.1125 MHz					①			
9	421.6750 MHz	440.1250 MHz						①		
10	421.6875 MHz	440.1375 MHz	③							
11	421.7000 MHz	440.1500 MHz			②					
12	421.7125 MHz	440.1625 MHz				②				
13	421.7250 MHz	440.1750 MHz					②			
14	421.7375 MHz	440.1875 MHz						②		
15	421.7500 MHz	440.2000 MHz		③						
16	421.7625 MHz	440.2125 MHz							②	
17	421.7750 MHz	440.2250 MHz	④							
18	421.7875 MHz	440.2375 MHz								③
19	421.8000 MHz	440.2500 MHz	-	-	-	-	-	-	-	-
32	421.8125 MHz	440.2625 MHz		④						
33	421.8250 MHz	440.2750 MHz			③					
34	421.8375 MHz	440.2875 MHz				③				
35	421.8500 MHz	440.3000 MHz					③			
36	421.8625 MHz	440.3125 MHz						③		
37	421.8750 MHz	440.3250 MHz			④					
38	421.8875 MHz	440.3375 MHz				④				
39	421.9000 MHz	440.3500 MHz					④			
40	421.9125 MHz	440.3625 MHz						④		

周波数グループの①～④チャンネルは、センターユニットに接続されるセンタートランシーバー1～4 (グループ1～4) に相当します。周波数グループG・は①～③チャンネルまでです。ただし、センターマイクに直接接続されるセンタートランシーバーの周波数グループおよびチャンネルは、センターマイクの設定によります。

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は...

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、このセンターマイクの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	センターマイク
品番	WX-CM10
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年 月 日	品番	WX-CM10
	販売店名	☎ () -		

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410